

1.1. 麻酔・集中治療科

当院では、厚労省指定必修救急医療（麻酔・集中治療科）4週とは別に、麻酔・集中治療4週を必修とする。

1. GIO(一般目標)

- ・初期研修医の間に ASA PS 1-2、気道に問題を抱えない患者の全身麻酔を、指導医の同席の元、導入から覚醒まで行うことができる。
- ・患者の問題点を事前に把握し、術前・術中・術後におよぶ麻酔管理計画を立てカルテに記載し、術前カンファレンスで症例のプレゼンテーションをすることができる。
- ・想定される事態に対応するための術前準備、術中術後管理に対するディスカッションに参加できる。
- ・点滴路確保、マスクによる気道確保、気管挿管、動脈ラインの確保などの基本的手技が実施できる。

2. SBOs (行動目標)、4. Ev (評価)

	行動目標(SBOs)	研修方法	評価方法 (EV)
身体的診察法			
	問診による心肺機能の推定ができる	レクチャー⇒実践	実地観察、
	聴診・触診(必要に応じて)ができる	レクチャー⇒実践	ディスカッション
基本的な臨床検査			
	呼吸機能検査の意味を知り説明できる	レクチャー⇒実践	プレゼンテーション、 ディスカッション
	心電図の読解ができる	レクチャー⇒実践	
	血液検査の判読ができる	レクチャー⇒実践	
	各臓器機能について問題点の洗い出しができる	レクチャー⇒実践	
基本的手技			
	プレメディケーション(必要に応じて)	レクチャー⇒実践	実地観察、 ディスカッション
	末梢静脈ラインの確保ができる	レクチャー⇒実践	
	マスク保持・バッグ換気について要点を理解する	レクチャー⇒実践	
	気管挿管の理論を知り基本手技を学ぶ	レクチャー⇒実践	
	ラリングマスクの特徴を理解し挿入できる	レクチャー⇒実践	
高度手技			
	CVカテーテル挿入手順の理解	レクチャー⇒実践	実地観察、 ディスカッション
	片肺換気用チューブの特殊性の理解と生理学の理解	レクチャー⇒実践	
	硬膜外麻酔の原理と手順の理解ができる	レクチャー⇒実践	
	動脈ライン挿入手順の理解ができる	レクチャー⇒実践	
	血液ガス分析の読解ができる	レクチャー⇒実践	
	循環動態の把握(フロートラック、SGカテなど)ができる	レクチャー⇒実践	
コミュニケーション			
	患者に術前の状態と麻酔方法説明ができる(ASA PS1-2程度)	レクチャー⇒実践	実地観察、 ディスカッション、 カルテ評価
	患者に麻酔リスクと対策の説明ができる(特別な問題点を有さない患者)	レクチャー⇒実践	

3. LS(方略)

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
7:30-8:15	ICU回診	ICU回診	ICU回診	ICU回診	ICU回診	
8:15-8:45	抄読会・症例提示	レクチャー・症例提示	レクチャー・症例提示	抄読会・症例提示	レクチャー・症例提示	WEC
8:45-9:30	麻酔導入	麻酔導入	麻酔導入	麻酔導入	麻酔導入	TEC、ICU実習 (お昼まで)
9:30-16:00	麻酔管理	麻酔管理	麻酔管理	麻酔管理	麻酔管理	
16:00-16:30	術前診察	術前診察	術前診察	術前診察	術前診察	
17:00-				研修医抄読会		

必修として研修後、さらに選択として研修する場合

1. GIO(一般目標)

- ・気道確保に特化した必修研修に加え、高度の手技編である CVC、A-Line、硬膜外麻酔などの手技を経験する。
- ・患者の問題点を事前に把握し、想定される事態に対応するための準備に対するディスカッションに意見をもって積極的に参加できる。
- ・当初の研修よりも全身状態が悪い患者、あるいは手術侵襲の高い患者の管理を考え、指導医とともにディスカッションおよび管理の実施ができる。
- ・希望者にはICU担当の割当ても可能である。

2. SBOs(行動目標)、4. Ev(評価)

	行動目標(SBOs)	研修方法	評価方法(EV)
身体的診察法			
	問診による心肺機能の推定ができる	実践	実地観察、 ディスカッション
	聴診・触診(必要に応じて)ができる		
基本的な臨床検査			
	呼吸機能検査の意味を知り説明できる	実践	プレゼンテーション、 ディスカッション
	心電図の読解と説明ができる		
	血液検査の説明ができる		
	各臓器機能について問題点の説明ができる		
基本的手技			
	プレメディケーション(必要に応じて)	実践	実地観察、 ディスカッション
	末梢静脈ラインの確保ができる		
	マスク保持・バッグ換気について要点を理解する		
	気管挿管の理論を知り基本手技を学ぶ		
	ラリングマスクの特徴を理解し挿入できる		
高度手技			
	CVカテーテル挿入の実践(超音波ガイド下)	実践	実地観察、 ディスカッション
	困難な末梢静脈路の確保(超音波ガイド下)		
	片肺換気用チューブの理解と挿管		
	硬膜外麻酔の手順の理解と実践		
	困難な動脈ライン挿入(超音波ガイド下)		
	末梢神経の解剖の理解と神経ブロックの実践(超音波ガイド下)		
	血液ガス分析の読解と解説ができる		
	循環動態の把握(フローバック、SGカテなど)と治療の提案ができる		
コミュニケーション			
	患者に術前の状態と麻酔方法説明ができる(ASA PS2-3程度)	実践	実地観察、 ディスカッション、 カルテ評価
	問題点のある患者に麻酔リスクと対策の説明ができる		

3. LS(方略)

週間スケジュール

※必修時と同様